

# 塩谷郡市医師会だより

平成16(2004)年9月17日 第35号

社団法人 塩谷郡市医師会 塩谷郡氏家町桜野 1319 番地3 氏家町保健センター内 Tel 028(682)3518

## 平成16年度第2回役員会報告

平成16年9月13日(月)午後6時30分から氏家町保健センター内医師会事務室にて開催された。  
出席役員：尾形会長・小林副会長・戸村副会長・西・山田・後藤・奥山・根本・阿久津博・阿久津正大和田・大野・二井谷・軽部・木内(県広報委員)川原



尾形会長の挨拶に続き、小林副会長の議事進行で、下記の議題と報告事項について協議された。

### ■議題1 平成17年度地域保健活動推進協議会の準備について

戸村委員より平成17年度事業計画ならびに予算について説明があり、活動内容として

「禁煙推進運動(継続)」

「生活習慣予防に関する市民講座の開催」

が決定された。

禁煙活動については現在「社会活動委員会」が中心に活動している。しかし、岡先生からの要望もあり、社会活動委員会の中に副委員長として「禁煙運動」担当委員を設け、その担当委員が中心となって委員会の枠組みを超えた禁煙運動を推進する。そして担当委員を森島副委員長にお願いすることが役員会で承認された。

「生活習慣予防に関する市民講座の開催」については、来年度矢板市で開催予定の健康祭りやタイアップする案や、関係機関(行政・検診実施主体者・労働者団体等)と連携し、高齢者ばかりでなく、予防的見地から健常者や検診で異常があったハイリスク者に、公開講座へ積極的に参加していただく案などが検討された。

公開講座のテーマに関しては、研修委員学術部会が委員会(山田委員長)を立ち上げるようになった。

### ■議題2 医師会の広報活動について

尾形会長より、地域に密着した一般市民向けの広報活動を推し進め、医師会に対する理解を深めたい。

例えば禁煙運動や病診連携、そして混合診療解禁が皆保険制度崩壊につながるなどについても、一般市民の理解は低いと思われるとの説明あり。

媒体として、郡市医師会ホームページ、マスコミの利用、検診時の説明会、行政が配るパンフレットなどが検討された。今期の実績として8月の下野新聞に社会活動委員会の禁煙運動(母子手帳に挟むリフレット)が掲載され、9月14日には医療機能分化推進委員会による塩谷総合病院の病診連携が掲載される。地方紙に掲載されることは広報効果が高く、積極的に利用してゆきたい。

県広報委員の木内先生から、県や地域医師会での対外向け広報活動は、まだ殆ど行われていないとの報告あり。

日本医師会は国民向けの広報活動の重要性を認識しており、今年度から従来の広報委員会を対内向けの広報編集委員会と、対外向けの広報戦略会議に分け、9月2日に第1回広報戦略会議が開催され、問題点を浮き彫りにして、次回より具体的な検討に入る予定となる。

郡市医師会として検討の末、小林議長より、今回の役員会ではっきりした活動方針は打ち出せないで、今後の具体的な対外向け活動について、広報委員会に検討するよう指示された。

## ◆報告事項

### (イ) 感染症対策委員会

軽部委員長より次のような予防接種に関する説明があった。

1. 予防接種前後の確認書が出来上がり、役員会で承認され、来春からでも使用開始となる。

2. 予防接種事故防止講習会を来る9月21日の医学講座で委員長から説明がある。

3. インフルエンザの接種料金について  
成人(13歳以上)は4,200円が望ましいが、各医療機関の判断によって最低料金を3,150円、小児の最低料金は2,100円としてはどうか?

初診料との兼ね合いや接種リスク、そしてサロメチル除去ワクチンの発売予定などからも、最低料金は決めにくい。

塩谷郡市医師会ホームページ	広報委員会編集部	医師会事務局
U R L <a href="http://www.tochigi-med.or.jp/~shioya/">http://www.tochigi-med.or.jp/~shioya/</a>	阿久津正之 akutsu@d1.dion.ne.jp	川原 shioya@triton.ocn.ne.jp
M L shioya-ml@tochigi-med.or.jp	戸村 光宏 mtomura@sirius.ocn.ne.jp	坂和 sakawa@e-shioya.jp

4. 予防接種 1 市 4 町間相互乗り入れについては  
役員会で承認され、医師会として 1 市 4 町相互  
乗り入れ希望の要望書を提出する。
5. 結核検診において、精密検査検討者は校医が判  
定せず、すべて結核対策委員会へ回してほしい。

#### (ロ) 県正副会長会議準備委員会

小林副会長より説明があった。

今回は塩谷郡市が幹事で、11 月 20 日に矢板市  
メイフラワーゴルフクラブで懇親会が開催される。  
出席者は 33 名の予定。協議提案事項があれば事務局  
まで F A X 等で連絡してください。

#### (ハ) 介護保険委員会

1. 認定審査の平準化に係わる調査結果について  
要介護度別変更率において、高根沢町が要介護 5  
の変更率が他の市町より有意に高いようだが、一次  
判定ソフトは要介護度を労力（手間）で判定すべき  
ところを、まだ重症度で判定する傾向がある。  
高根沢町は二次判定でその点を考慮しているので、  
変更率が高く出ているのではないか。今後すり合わ  
せが必要であろうと思われる。

#### 2. 主治医意見書研修会

11 月 26 日に太田秀樹先生（おやま城北クリニック院  
長）の講習会を予定しているので、上手く書けてい  
ないと自覚している先生方には是非とも参加して頂  
きたい。

#### (二) 医療機能分化推進委員会

尾形会長より、9 月 1 日から塩谷総合病院の病診  
連携が動き出したとの報告と、多くの医療機関で利  
用して欲しいとのお願いがあった。  
奥山塩谷総合病院長からも、病診連携業務は支障  
なく活用している旨の報告がされた。  
また、実際稼働してどうして利用が足りないのか  
等アンケートを予定しているので、円滑な活動のた  
めにもよろしくご協力をお願いします。

#### <講演会のご案内>

医療訴訟の現状と対策

平成 16 年 9 月 21 日（火）午後 7 時

会場：氏家町保健センター

塩谷医療連携交流会

平成 16 年 10 月 27 日（水）午後 7 時

会場：塩谷総合病院大会議室

医業経営セミナー（県医主催）

『相続・事業継承対策』

平成 16 年 10 月 20 日（水）午後 7 時

平成 16 年 11 月 10 日（水）午後 7 時

会場：矢板イースタンホテル

## 平成 16 年度

### 第 1 回医療機能分化推進事業運営委員会

日 時：平成 16 年 6 月 21 日午後 6 時 30 分

場 所：塩谷郡市医師会事務室

出席者：尾形会長、奥山（塩谷総合病院）金澤  
（黒須病院）廣木、植木、鈴木（県医事厚生課）  
青木（県北保健センター）、岡、川原事務長

#### ■議題および決定事項

#### 平成 16 年度事業計画大綱

#### (1) 塩谷総合病院に医療連携用コンピューター ソフト（連携くん）設置

9 月 1 日より運営開始。運営開始に合わせ、8 月  
24 日塩谷総合病院大会議場にて、各医療機関にパス  
ワードの配布、および説明会は塩谷郡市医師会のみ  
ならず、近隣の医師会にも広報する。

#### (2) 「かかりつけ医」の定着と医療機関の周知

「かかりつけ医」と医療連携に関するリーフレッ  
トを作成し、一般に配布

医療機関同士の連携を図るための情報（医療機器  
の種類や患者受入体制など）を収集し、各医療機関  
医療連携推進室に配布

（今秋、県医師会の医療機関情報の冊子が作成され  
る予定のため、その発行を待って検討する）

尚、この情報は医療連携コンピューターソフトに  
も使用。

塩谷郡市医師会のホームページに一般向けの連携  
サイトを設置

（県医師会ホームページに今秋設置予定の医療機関  
情報サービスを参考とする）

A B 医師会員全員（約 100 名）に医療連携に関す  
るアンケートを実施

医師会会員の医療連携に対する考え方を知り、今  
後の医療連携の進め方の参考にするとともに、昨年  
度実施した医療連携アンケートの結果の総括を提示  
することを目的とする。

健康管理手帳の増刷と配布について

健康管理手帳についてのアンケートを 7 月に実施  
して、手帳の改訂の検討と増刷部数を決定する。

#### (3) その他

今年度の県より本事業に対する補助金が昨年度の  
280 万円から 300 万円に増額された。

報告者：岡

#### 編集部から

岡先生から「平成 16 年度第 1 回医療機能分化推  
進事業運営委員会報告」

戸村先生から「塩谷広域行政組合消防本部と塩  
谷郡市医師会との話し合い」の原稿を頂いたので  
前後に掲載しました。ありがとうございました。

## 「塩谷広域行政組合消防本部と 塩谷郡市医師会との話し合い」

日 時：平成 16 年 6 月 29 日午後 6 時 30 分

場 所：塩谷郡市医師会事務室

出席者

\* 塩谷広域行政組合消防本部

消防長：大島正良 消防指令長：村山芳忠

救急救命士：吉成政洋、江面洋一

\* 塩谷郡市医師会

会長：尾形直三郎 副会長：(司会) 戸村光宏

塩谷総合病院長：奥山和明

黒須病院長：金澤暁太郎 氏家町：根本鞆夫

高根沢町：阿久津正美 塩谷町：尾形新一郎

喜連川町：佐野哲郎 事務長：川原一太



活発な意見交換が繰り広げられました

### ■ 議題

- 1) 特定三行為及び事後検証の実施状況について
- 2) 救急救命士の処置範囲の拡大措置に係る対応について
- 3) その他

「この会は今回で 3 回目となります。救急救命士の現状はどうなっているのか、受け入れる側の病院はどうか、お互いに意見を出し合ってよい方向へ向かうようよろしく話し合いをお願いします。」との尾形会長の開会挨拶の後、村山指令長から議題 1, 2 についての説明がありました。

### 説明内容

特定三行為とは、除細動・気管挿管・輸液をさす。

除細動については機器の進歩により「医療機関の包括的指揮下で救命士が行う」とされているが、現在、除細動を行ってから医師に連絡すればよいことになっている。この結果、平成 15 年度の塩谷広域では除細動を行った例は 5 件あった。

除細動、気道確保、輸液のいずれかを行った例は 11 件あり、塩谷総合病院へ 6 件、黒須病院へ 1 件、済生会救命センター 2 件、獨協医大 1 件、尾形クリニック 1 件搬送されている。

気管挿管は塩谷広域では、本年 6 月から挿管の実習を塩谷総合病院、県立がんセンターで各 1 人づつ行っており、栃木県全体では 6 人が研修中である。

輸液についてはすでに実施されているが、輸液への薬剤の投与は平成 18 年から認められる方向である。

このことに関する質疑応答で、吉成救急救命士が、6 月 21 日からの実習を塩谷総合病院で行い、既に 12 例の挿管に成功しているということが紹介されまし

た。関連病院ならびに消防本部の熱意の大きさがうかがえます。挿管実施においては、病院での手術の際に実習するもので、事前に救急救命士同席の上、麻酔科医が説明と同意を患者さんから得ることになっています。

高規格救急車は塩谷広域では 2 台しか配備されておらず、順次残りの自治体にも配備されているそうです。普通の救急車には除細動機も装置されておらず、航空機搭乗員でも扱える除細動機は普通の救急車にも搭載すべきではないかと思われます。

また、高規格救急車を有効に使うには、救急救命士の数も問題で、研修を受ける人が増加しても、24 時間スタンバイできるまで揃うにはそうとうな年月がかかりそうです。

その他、活発な意見が出されましたが、診療所から病院への輸送の際のマニュアルを見直そうということになりました。

救急車を要請した医療機関が、すでに受け入れ先の病院と連絡済であるのに、救急患者を搬入させてから、再度車内から、受け入れ病院へ電話連絡し、血圧・脈拍などのデータを連絡し、受け入れを承諾してもらってから出発するというマニュアルになっていました。そのため医療機関の駐車場で患者を乗せたまま 3~5 分止まっていることが多々あったようです。

》》》 検討していただき

医療機関の連絡により受け入れ病院が了解済みの場合は『患者搬入後速やかに出発し、搬入中に病院と連絡する』ということになりました。

このことは翌日(6月30日)に塩谷広域行政組合消防本部から各消防署へその旨伝達がありました。消防署の迅速な判断と連絡に敬意を表します。

文責：戸村

### ● 郡市・大学医師会事務長連絡会議報告

日時：平成 16 年 8 月 31 日(火) 午後 3 時

会場：栃木県医師会全理事会室

協議報告事項

#### 1) 医療安全について

医療事故の発生は、社会的糾弾～信頼失墜～致命的打撃になるので、最大の予防は不安全の目を早期に排除、事故を未然に防ぎ、事故事例等の活用により、同種事案の再発を防止するよう努める。

#### 2) 塩原病院建設の経過について

平成 19 年 4 月開院

#### 3) 平成 17 年度地域保健活動推進協議会実施事業

平成 16 年 11 月末までに予算・計画書提出のこと

#### 4) 郡市医師会保険診療研修会に伴う集团的個別指導

本年度 3 医師会対象(高点数 300 医療機関を指導する)

#### 5) 全国医師国民健康保険連合会第 42 回全体協議会

本年度は当県が当番

報告者：川原